



山口製造所光製鋼工場スラブ用連続鋳造設備のリフレッシュについて

日鉄ステンレス株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 井上 昭彦)、以下「当社」)は、品質対応能力の向上と高付加価値・難製造製品のメニュー拡大のため、山口製造所光製鋼工場のスラブ用連続鋳造設備(以下「スラブCC」)をリフレッシュすることを決定いたしました。

当社は、我が国最大の一貫ステンレス鋼メーカーとして常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、ステンレス鋼で社会の発展に貢献することを企業理念に掲げ、基礎素材産業として広く社会の基盤を支えるという使命を果たすべく、様々な課題の解決に取り組んでおります。今回その一環として、ステンレス鋼製造における最重要工程の一つであるスラブCCを一新し体質強化を図ることで、脱炭素社会の実現等の取組みの中で高度化する需要に対応し、今まで以上に幅広い商品メニューをお客様にご提供することが可能となります。

また今回のスラブCCのリフレッシュに合わせて、ブルーム用連続鋳造設備についても生産構造の最適化を図ることといたします。

当社は今後も国内外の最新技術の導入等により設備の強化・充実に努め、製造実力と品質競争力の向上、更には生産性の向上やコストの改善に取り組んでまいります。

【山口製造所光製鋼工場新スラブ用連続鋳造設備の概要】

1. 能力 : 約 50 万ト/年
2. 稼働時期 : 2026 年度上期末予定
3. 投資額 : 約 320 億円

(お問い合わせ先)企画部 03-6841-5979

以 上